

環境問題を理解し、解析するための教科書



環境問題に取り組むための移動現象・物質収支入門 現象の定式化・モデル化・データ解析の基礎（丸善）

環境問題に取り組むためには、関与している現象を理解したうえで定量的に表し、結果を予測して対策を決めなければならない。しかし、環境中ではさまざまな現象が同時に起こり、それぞれが異なった学問領域が関連しているため、環境問題を複雑に見せている。

本書は移動現象と物質収支という2つの考え方を軸に種々の現象を体系的にまとめ、モデル化を解説した入門書である。あわせて筆者の研究データをもとにデータのとり方やExcelを用いたデータ解析を解説し、学生だけでなく技術者にとっても有用な一冊となっている。

☆「環境モデリング」(2年目)の教科書

環境統計学入門—環境データの見方・まとめ方(オーム社)

本書は、著者らが環境に関わる学科で統計学の教育を担当し、あるいは実際に環境の問題に対して統計学の技法を使った仕事をしてきた経験を通じて、「これだけ知っていればたいいの場合に対応できる」という線をねらって執筆したものである。本書の主たる対象は、環境問題に対するデータを解析する必要のある実務者の方々や、学生の方々である。

環境問題に関連するデータを取り扱うための統計学として、必要最小限の知識を学び、さらに環境データを取り扱う演習によって、実用的な能力を身に付けられる一冊

☆「環境統計学」(2年目)の教科書



環境工学入門 (FirstStageシリーズ) (実教出版)

- 1 地球と人類 (地球の成り立ち, 資源)
- 2 社会と環境 (環境の歴史, 日本の環境政策)
- 3 地球温暖化とエネルギー (地球温暖化, エネルギーの利用)
- 4 廃棄物とリサイクル (廃棄物の現状, 処理技術と管理)
- 5 地域環境の保全 (大気汚染, 水質汚染, 土壌・地下水汚染, 騒音振動)
- 6 産業と環境 (環境管理, 環境リスク, 省エネルギー, リサイクル)
- 7 都市・生活と環境 (都市システム, 住環境と健康, 環境保全の取り組み)

下線部: 松藤執筆